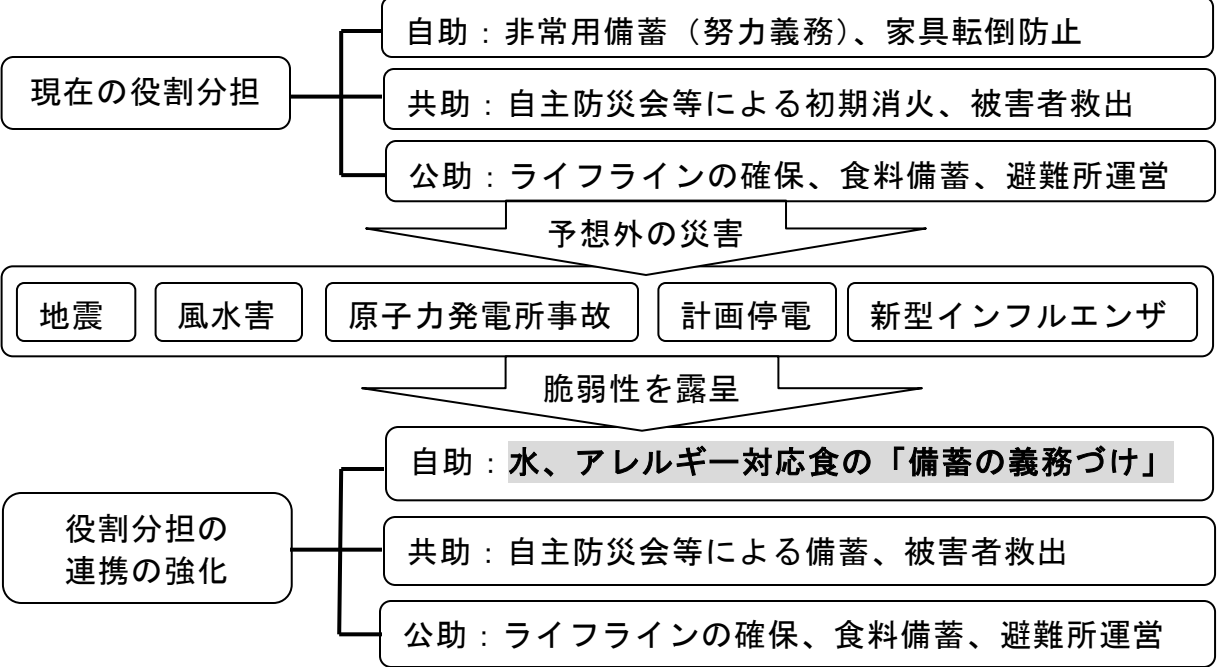


目次

提言の要約	1
1 はじめに	2
2 自助・共助・公助の考え方	2
3 現状及び課題	
(1) 1日分にも満たない行政備蓄	4
(2) 流通備蓄は道路寸断や物流事故に弱い	5
(3) 進まぬ住民の食料備蓄	5
(4) アレルギー対応食を備蓄していない	6
4 提言	
提言に当たって	7
提言1 条例による水のペットボトルやアレルギー対応食の備蓄義務づけ	7
提言2 避難所等の備蓄物資の情報提供	9
提言3 水のペットボトルの備蓄を促す仕組みづくり	10
5 期待される効果	11

提言の要約
**『水のペットボトル 1 日分の
 備蓄を住民に義務づける条例で減災対策!!』**
～自己防衛のすすめ～



現状と課題

- 1 災害時の食料備蓄は、住民に身近な市町村の責務であるが、財政難等の理由から全世帯分の備蓄ができていない。
- 2 生産者や販売業者等と食料調達協定を結ぶ流通備蓄は進むが、道路の寸断や物流事故時は、食料が被災者に届かないおそれがある。
- 3 住民の食料備蓄は努力義務で、防災訓練の場等で住民に備蓄を呼びかけるが備蓄は進んでいない。
- 4 アレルギー対応食等の公的備蓄ができていない。

- 提 言
- 提言 1： 条例による水のペットボトルやアレルギー対応食の備蓄義務づけ**
 - 提言 2： 避難所等の備蓄物資の情報提供**
 - 提言 3： 水のペットボトルの備蓄を促す仕組みづくり**
- 効果** 備蓄における自助、共助、公助によるリスク分散で減災